

《パッキン》

1. ピンセット等を使用してパッキンを外してください。
2. 新しいパッキンをしっかりとホルダーに取り付けてください。
(消毒用のアルコールをパッキンに塗布すると容易に取り付けられます。)

	注 意	パッキンを外す時は、ケガをしないようにご注意ください。 また、パッキンを交換する時は、ホルダーを傷付けないようにご注意ください。 ホルダーに傷が付くと気密不良の原因となり、マスク本来の性能が著しく低下します。
--	------------	--

■手入れの方法

《ろ過材》

ろ過材は、よく乾燥させ、ろ過材上に付着した粉じん等が飛散しない程度に軽くたたいて粉じん等を払い落としてください。

	注 意	ろ過材を手入れして再使用する場合は、次の確認が必要です。 新品時より捕集効率が低下していないこと及び、吸気抵抗値が上昇していないこと。
--	------------	--

	警 告	次に示した方法によるろ過材の手入れは、防じんマスクの粒子捕集効率の低下を招くおそれがありますので行わないでください。 1. 付着している粉じんを圧縮空気などで吹き飛ばして除去すること。 2. 強くたたいたり、たたきつけることにより付着した粉じんを除去すること。
--	------------	--

	警 告	砒素、クロム等の有害性が高い粉じんに対して使用したろ過材は、手入れしないでください。1回使用ごとに破棄してください。
--	------------	--

水洗再生による方法

本品に使用しているろ過材は水洗再生が可能でリユース(再使用)製品として認定されたエコマーク認定商品です。

当社では、「水洗可」と表示のあるろ過材については、有償で、水洗再生(含む性能検査)を実施しています。

概要は、下記のとおりです。

詳しくは、当社営業所までお問い合わせください。

1. 水洗再生回数は無制限
性能が低下したろ過材は、当社負担で新品と交換
2. お預かりする数量
1回につき100個以上
3. お預かりできるもの
次の4種類の粒子状物質(粉じん)を捕集したものに限ります。
①ヒューム ②土砂 ③岩石 ④セメント
4. 水洗再生をお断りする場合
①ろ過材(ケース、フィルタ)が破損しているもの
レッテルの剥がれ等で検定標章が不鮮明なろ過材も含みます
②ろ過材に油脂類が付着しているもの
③有害性が高い物質が混在している粉じんを捕集したもののひ素、クロム等(管理濃度0.1mg/m³以下)の物質の粉じんを発散する場所で使用したもの

《ろ過材以外の部分》

	注 意	必ず、ろ過材を外して実施してください。
--	------------	---------------------

1. 接顔体、吸気弁、排気弁、排気弁座、しめひもなどに付着した粉じんや汗などの汚れは、乾燥した布又は水で軽く湿らせた布で拭いてください。
2. 汚れの著しい時には、ろ過材を取り外しろ過材以外の部分を、中性洗剤を少量入れたぬるま湯又は水をスポンジ等に合わせて洗ってください。その場合は十分にすすぎをし、陰干しをしてください。
3. マスクを消毒用アルコールでふいた時は、アルコール分が残らないよう十分陰干ししてください。

	注 意	取り外した部分は、元のとおり正しく取り付けてください。
--	------------	-----------------------------

	注 意	洗濯機で洗ったり、乾燥機で乾燥させると、マスクが破損する原因になります。
---	------------	--------------------------------------

■保管方法

清潔な冷暗所で、乾燥した状態で保管してください。

	注 意	積み重ねたり、折り曲げて保管すると、亀裂、変形等の異常の原因になります。
---	------------	--------------------------------------

■交換の目安

次の項目に該当する場合は、ろ過材又は部品の交換をしてください。

《ろ過材》

1. 収縮、破損もしくは著しい変形等が生じたとき。
2. 著しい吸気抵抗の上昇又は、粉じん捕集効率の低下が認められたとき。

《排気弁、吸気弁》

破損、亀裂、著しい変形又は、粘着性が認められたとき。

《しめひも》

1. 老化により弾力を失い、伸縮不良の状態が認められたとき。
2. ヘッドバンドやバックルに、亀裂、破損等が認められたとき。

《パッキン》

破損、亀裂、著しい変形又は、老化により弾力を失ったとき。

■廃棄方法

使用後のろ過材は、粉じんが再飛散しないように、密閉性の高い袋等に入れてから、法規制に従って廃棄してください。

■オプション部品

●フィットチェッカー-R3

密着性の良否の検査を行う場合に使用します。
2個必要です。
詳細は、密着性の良否の検査方法をご覧ください。

●スパッタ防止具E、F

溶接スパッタ等がろ過材に飛び込むのを防止します。
スパッタ防止具Fは、フィットチェッカーを内蔵していますので、いつでもどこでもフィットチェックが簡単にできます。

●アルコール除菌スプレー

スプレー式の除菌・消毒用アルコールです。
スプレーした後は数分間放置し、軽く布等で拭きとるだけでOKです。

●携行袋(全面形用)

マスクを収納したり、携行するのに便利です。

●全面形面体専用矯正めがねCG1

水中めがねタイプの矯正めがねです。
レンズは-1.50～-8.00(0.5間隔、-6.00～-8.00は1.0間隔で)12種類あります。
(専用の曇止液付き)

●カバークラス タイプH2

アイピースに貼り付けて、アイピースの汚れ、キズなどを防止するフィルムです。

●吸気抵抗測定機Rメーター (H225×W190×D380mm)

ホルダーに押しつけるだけで当社製ろ過材の通気抵抗が測定できます。
ケースレスフィルタは、専用カートリッジ〔別売〕を併用します。

●吸気抵抗判別機フィルタチェッカー (H140×W220×D210mm)

ホルダーに押しつけるだけで当社製ろ過材が交換基準値に達しているかを判別します。通気抵抗は測定できません。
ケースレスフィルタは、専用カートリッジ〔別売〕を併用します。

この製品の取扱方法、その他について不明な点は、下記へお問い合わせください。



株式会社 重松製作所

本 社 〒114-0024
東京都北区西ヶ原1丁目26番1号
☎ 0120-36-0277



創業1917年

取替え式防じんマスク DR165U2W、DR165U2W-1 取扱説明書

[直結式(全面形) 区分:RL2] (型式検定合格番号第TM90号) (型式検定合格番号第TM445号)

2011年11月現在

本品をお買い上げ頂き、ありがとうございました。使用前に必ずこの説明書をよく読み、内容を十分ご理解のうえ、正しくご使用ください。
この説明書は、いつでも読めるように大切に保管してください。もし、紛失された場合は、当社又は販売店へお申し出ください。

■警告表示の定義

本文中に記載されている「危険」「警告」「注意」の表示は、誤った取扱いによる事故を未然に防ぐための重要な内容を示していますので、熟読し安全にお使いください。各表示の意味は次のとおりです。

	危 険	取扱いを誤った場合、使用者が死亡又は健康上重大な危害を被る可能性が極めて高いことを示します。
	警 告	取扱いを誤った場合、使用者が死亡又は健康上重大な危害を被る可能性があることを示します。
	注 意	取扱いを誤った場合、使用者が健康を害するか又は物的損害が生じる可能性があることを示します。

■使用上の注意事項

本品を安全にお使いいただくために、下記の注意事項をお守りください。
誤った取扱いをされた場合、着用者の生命が危険な状態にさらされることがあります。



	危 険	1. 次の条件下では、使用しないでください。 ・酸素濃度が不明又は18%未満の環境。 ・汚染物質が不明な環境。 ・有毒ガスが存在する環境。 ・汚染物質が生命・健康に直ちに危険な環境。 2. 本品の用途及び使用の範囲に示す使用区分以外では、使用しないでください。 3. 初めて本品を使用される方は、必ず作業責任者の指導を受けてください。 4. 気密不良が生じますので、市販の矯正めがねを付けたまま面体を装着しないでください。全面形面体専用矯正めがね〔別売〕を使用してください。
	警 告	1. ホルダーや弁座等の部品が外れたり破損する恐れがありますので、マスクを折り曲げたり、変形させたり、過度な力を加えることはしないでください。 2. 分解・改造を行わないでください。 3. 純正部品以外は使用しないでください。 4. 次の事項に該当する方は、本品の着用をしないでください。 ・面体と顔面との接顔部に入り込むようなひげがある場合。 ・排気弁の作動を妨害する口ひげ又はあごひげがある場合。 ・呼吸器又は循環器系に疾患がある場合。 ・体調が不調な場合。 ・その他産業医が不適当と認めた場合。 5. 使用前点検を必ず実施してください。 6. 面体と顔面との間には、タオル等の気密を妨げるものを使用しないでください。 7. 使用中に次のことが生じた場合は、直ちに作業を中止し、安全な場所でマスクを外してください。 ・吸気抵抗が増加し、息苦しくなった場合。 ・粉じんの漏れ込みを感じた場合。 ・部品が破損した場合。 ・体調に不調を感じた場合。 8. 溶接作業時等、ろ過材の吸気口にスパッタが飛び込むと、ろ過材が燃える恐れがあります。溶接作業を行う際は、スパッタ防止具〔別売〕を併用してください。
	注 意	1. 本品の使用により、人によってはアレルギー反応や、また環境中の有害物質や汗のため、発疹、発赤、かゆみ等の症状が現われることがあります。そのような場合には使用を中止し、皮膚科医等へご相談ください。(そのまま使用を続けると症状が悪化することがあります。) 特に、アレルギー体質の方は、発疹、発赤、かゆみ等の症状が現れた場合、直ちに使用を中止してください。 2. マスク本体や部品が変形する恐れがありますので、高温や高熱の作業場所では、使用しないでください。

■用途

本品は、事業場などにおいて発生する粉じんから人体を守るために使用する取替え式防じんマスクです。

■使用の範囲

本品の粒子捕集効率区分はRL2です。
粉じん等の種類及び作業内容に応じた使用区分は下表のとおりですが、**■使用上の注意事項**△**危険**に示す環境では、使用しないでください。

粉じん等の種類及び作業内容に応じた使用区分

粉じん等の種類及び作業内容	RL2の使用区分	
	オイルミスト等が混在しない場合	オイルミスト等が混在する場合
●安衛則第592条の5 廃棄物の焼却施設に係る作業で、ダイオキシン類の粉じんのばく露のおそれのある作業において使用する防じんマスク	×	×
●電離則第38条 放射性物質がこぼれたとき等による汚染のおそれがある区域内の作業又は緊急作業において使用する防じんマスク	×	×
●鉛則第58条、特化則第43条及び粉じん則第27条金属のヒューム（溶接ヒュームを含む）を発生する作業において使用する防じんマスク	○	○
●鉛則第58条及び特化則第43条 管理濃度が0.1mg/m ³ 以下の物質の粉じんを発生する場所における作業において使用する防じんマスク	○	○
●上記以外の粉じん作業	○	○

※○印：使用可 ×印：使用不可

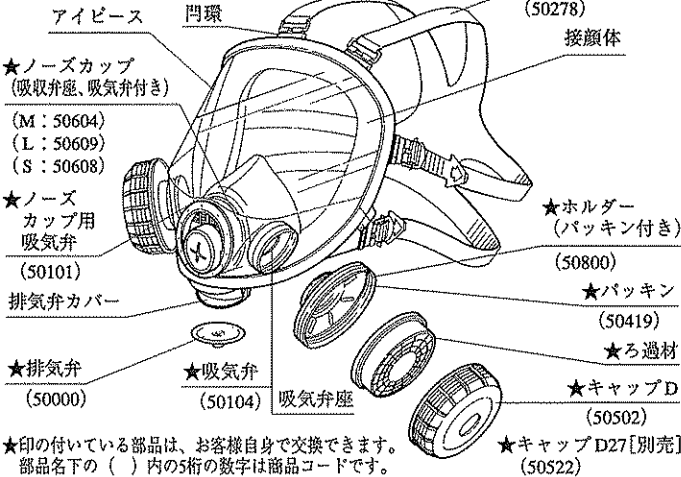
■特長

- 伝声器付きマスクですので、明瞭な会話ができます。
- 高性能メカニカルフィルタです。
捕集効率が非常に高く、しかもオイルミスト等を捕集しても低下しません。
- 不快臭や低濃度のオゾンも取り除きます。
- 立体形状の大型アイピースですので、広角な視野が保てます。
- 全面形ですので、眼も保護します。
- 接顔体は肌にやさしいシリコーンゴム製です。
DR165U2Wは、Mサイズです。
DR165U2W-1はSサイズとLサイズがあります。
Sサイズ：日本人男性の比較的小さな顔又は日本人女性の標準Mサイズ：日本人男性の標準
Lサイズ：日本人男性の比較的大きな顔

■性能

項 目	社内基準値	
	DR165U2W	DR165U2W-1
粒子捕集効率（DOP）〔％〕	96.0 以上	
吸気抵抗〔Pa〕	80 以下	
排気抵抗〔Pa〕	60 以下	
排気弁の作動気密〔秒〕	15 以上	
二酸化炭素濃度上昇値〔％〕	1.0 以下	
吸気抵抗上昇値〔Pa〕	140 以下	
重 量〔g〕	735 以下	760 以下

■構造及び各部の名称



■使用前の点検

点検項目	不具合の処置
吸気弁、排気弁、しめひも、接顔体等に、亀裂又は著しい変形等がないか。	新しい部品と交換してください。 接顔体が不具合の場合は、新しいマスクと交換してください。
吸気弁、排気弁及び弁座に粉じん等が付着していないか。	水等で汚れを落としてください。
吸気弁及び排気弁が弁座に適切に固定されているか。	正しく取り付けなおしてください。
ろ過材が適切に取り付けられているか。	マスクに適合するろ過材を正しく取り付けてください。
ろ過材が破損したり、穴などが開いていないか。また、ろ過材から異臭が出ていないか。	新しいろ過材と交換してください。
しめひもは十分に弾力があり伸びきっていないか。	新しいしめひもと交換してください。

△ 注 意	未使用でかつ適正な状態であっても、長期間保管されたものは、吸・排気弁等ゴム部品の劣化等が考えられますので、必ず使用前点検を実施して、不良の部品等を交換するか、使用しないでください。
--------------	--

■装着及び着脱の方法

《装着（付け方）》

- 両手で左右各2本のしめひもを握ってひろげ、面体内にあごを入れながらしめひもを後頭部にもっていきます。
- 左右4本のしめひもを下の方から1組ずつ締め付けます。

- 各しめひもは、均一になるように締めて下さい。締め具合は、気密が悪くならない程度にゆるめておく方が長時間の使用には楽です。装着後は必ず気密の確認を行い、気密が保たれていることを確認してください。

△ 注 意	しめひもを強くしめすぎないでください。フィットネスが悪くなったり、長時間の作業では不快になったりしますので注意してください。
--------------	--

《着脱（外し方）》

- 門環を起こして、しめひもをゆるめてください。
- 両手で面体の下部を持って、あごから外してください。

■密着性の良否の検査方法

防じんマスク本来の性能を十分に発揮させるためには、密着性が良好でなければなりません。
フィットチェッカー等を用いて、次の手順で着用者自身で密着性の検査を行い、密着性が良好なことを確認したうえで使用してください。

- フィットチェッカー〔別売〕を左右のキャップに差し込んでください。

- フィットチェッカーを付けたマスクを作業時と同様に装着してください。
- マスクを顔面に押しつけないように、フィットチェッカーのゴム管を指でつまんでふさいでください。

- ゆっくりと息を吸い、接顔体と顔面との接顔部分から空気が流入しないことを確認してください。
もし、流入を感じたら、マスクの着用状態を直し、再び3を実施して空気がマスク内に流入しないことを確認してください。
着用状態を直しても空気の流入を感じるようでしたら、パッキン、吸排気弁等が確実に付いているかを確認してください。

△ 警 告	1. 使用前に密着性の良否の検査を必ず実施してください。 2. 密着性が良好であることを確認できない場合は、使用を中止してマスクの着用状態を直してください。 密着性が良好であるか確認できない場合は、安全な場所でマスクの各部分を点検してください。 〔点検方法〕参照)
--------------	---

■点検方法

点検箇所	点検内容	不具合の処置
接顔体	破損、亀裂、孔あき、裂け、変形等の異常がないか 弁がついているか	新しいマスクと交換してください。 新しい弁を付けてください。
排気弁	弁がめくれていないか 正しく取り付けられているか 汚れ、ゴミ等が付着していないか 亀裂、破損、変形、粘着等がないか 正常に作動するか 弾力性は十分か	正しく取り付け直してください。 水等で汚れを落としてください。 新しい弁と交換してください。
排気弁座	汚れ、ゴミ等が付着していないか 傷や変形等はないか	水等で汚れを落としてください。 新しいマスクと交換してください。
吸気弁	弁がついているか 弁がめくれていないか 正しく取り付けられているか 汚れ、ゴミ等が付着していないか 亀裂、破損、変形、粘着等がないか 正常に作動するか 弾力性は十分か	新しい弁を付けてください。 正しく取り付け直してください。 水等で汚れを落としてください。 新しい弁と交換してください。
しめひも	弾力性は十分か 亀裂、破損、変形等はないか	新しいしめひもと交換してください。
ろ過材	正しく取り付けられているか マスク本体に適合したろ過材が取り付けられているか 穴、破損、変形等がないか 装着時に息苦しくないか ろ過材から異臭が出ていないか	正しく取り付け直してください。 適合するろ過材を取り付けてください。 新しいろ過材と交換してください。
パッキン	確実に取り付けられているか 汚れ、ゴミ等が付着していないか 亀裂、破損、変形、粘着等がないか 弾力性は十分か	正しく取り付け直してください。 汚れ、ゴミ等を落としてください。 新しいパッキンと交換してください。
アイピース	深い傷がないか 視野を阻害する傷、汚れ、曇り等がないか 汚れていないか	廃棄又はメーカーに修理を依頼してください。 水等で汚れを落としてください。

△ 注 意	不具合の処置を行っても正常に機能しない場合は、マスクを廃棄又は修理を依頼してください。
--------------	---

■部品の交換方法

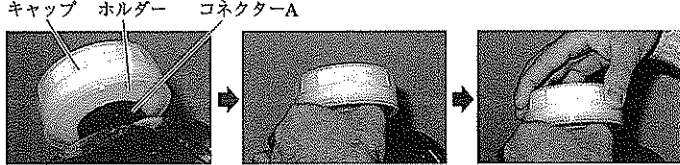
《ろ過材》

1. 外し方

キャップを左に回してホルダーからろ過材を取り出しますが、キャップを回すと同時にホルダーごとコネクターAから外れることがあります。
このため、次の方法でホルダーを固定しながらキャップを外してください。

①ホルダーを指で固定する方法

コネクターAを指でつまみながらホルダーを上方に押し上げ、キャップを回します。



②ホルダー押え（別売）で固定する方法

指で押えにくい場合は、ホルダー押えをコネクターAに取り付けて、キャップを回します。



2. 取り付け方

新品のろ過材をホルダーにのせ、キャップを右に回してしっかりと本体に取り付けてください。
※キャップを軽く逆方向（左方向）に回してから右方向へしめると、キャップとホルダーのネジ部のずれがなく、スムーズに行えます。

《排気弁》

- 排気弁カバー先端部を引っかけOPEN↓方向に引っぱってください。カバーは簡単にあきます。
- 弁を取り外すときは、弁の外周部を持って引っぱってください。

- 弁の取り付けは、突起部を持って押しつけるようにして取り付けます。

- 確実にセットできたかどうか確認するため、弁をまわしてみてください。軽くまわるようでしたら確実です。
排気弁カバーを取り付ける際は、2本足の方を差し込み、溝の部分でカチッと音がするまで押し込んでください。

△ 注 意	排気弁を交換する時は、排気弁座を傷付けないようにご注意ください。 排気弁座に傷が付くと気密不良の原因となり、マスク本来の性能が著しく低下します。
--------------	---

《吸気弁》

- 吸気弁をつまんで、外してください。
- 新しい吸気弁の足を吸気弁座中央の穴に入れて、弁の足を引っぱってください。（正しく付いていることを必ず確認してください。）

《しめひも》

- 左右4カ所については、門環から、しめひもを外してください。
- 頭頂部2カ所については、リングごと外してください。
- しめひもの裏・表、ねじれ等に注意して、外した手順通りに取り付けてください。